

第48回

子規顕彰小中高校生俳句大会

第48回子規顕彰小中高校生俳句大会の表彰式が平成25年11月23日、子規記念博物館で開催されました。8,457句の応募の中から選ばれた、グランプリ4句と特選130句を紹介します。 ※●は複数の選者に選ばれた句。()内は学校名・学年(敬称略)

高等学校の部

●グランプリ●



武智 愛永 (東温高2年)

毎年、祖母と一緒に迎え火、送り火をしていて空に上っていく煙と炎を見てくれている祖父を思い出します。来年も私たちに会いに来てほしいという気持ちで俳句にしました。祖父もこの受賞を喜んでくれると思います。

送り火にまた来年ねと声かける

阪本 謙二選

道案内大きなひまわりめじるに
演 亜月(松山中央1)

花火師のカメラフラ動く草の中
四之宮 稔晃(松山中央2)

曼珠沙華赤に染めたのは誰
演 天使(附属2)

扇風機早くこちを向いてくれ
松澤 拓也(松山南1)

前髪を切って目に入る雲の峰
佐野 有利恵(松山南1)

綿菓子の花火の色に染まりをり
田丸 伶音(松山聖陵1)

手を挙げてコーナーキック秋の風
中村 優佑(松山聖陵1)

青嵐靴ひも結び走り出す
浅野 陽子(聖カタリナ3)

教室の西日の中の譜面台
増田 有紗(附属2)

ひめゆりの語り部休む緑陰に
扇山 史臣(松山聖陵2)

手拍子の隙間色なき風巡る
栗田 歩(松山東2)

夏祭り握りしめたる五百円
山本 翔太郎(松山中央1)

稲刈りや家族で集う祖父の家
池内 清流(松山城南2)

かき氷作る機械を作る僕
重見 竜成(松山工業3)

炎天に負けじと手に取るはんだこ
岡本 克典(松山工業3)

ラムネ瓶ボンとあふれる僕の夢
小川 すずか(聖カタリナ1)

蝉の鳴くこの校門ももう最後
曾我部 真帆(松山工業3)

中学校の部

●グランプリ●



岡井 美音里 (垣生中3年)

楽しそうに梅を漬けては好きでした。今年も赤紫蘇の灰汁で染まってくれてくれる母の愛情を感謝し、この句を頂いて親孝行ができたようで大変うれしいです。

赤紫蘇の灰汁母の手を染めていく

緒方 義彦選

二期期の最初の礼の声高く
久世 杏子(鴨川3)

カブトムシ興味も薄れる反抗期
大久保 拓(三津浜2)

つい素振りラケットに似た団扇か
杉山 敬也(津田2)

せり上がるうなぎの尻尾おけのふ
ち 渡部 晃司(垣生2)

シャーペンの芯がないまま夏休み
寺中 健人(西1)

日盛りや自転車こいで同窓会
菊田 恵(清美平成1)

まつさらな朝の始まる原爆忌
田井 優希(県西1)

後輩と最後の乱打夏は行く
須山 知樹(雄新3)

良くなるよ祖母に手渡すかき氷
松岡 芽依(余土1)

負け試合海の味するお弁当
角田 恵理(勝山2)

夏野菜玄間に置く祖父の午後
豊田 由紀(北条南1)

マウンドで夏風を切る僕の腕
渡部 晃太(県西1)

円描くトンボの羽に空透ける
菅 温貴(久米2)

雨降らず悲しみ流せぬ原爆忌
壽川 葵衣(三津浜2)

音もなく障子を走る稲光
佐伯 裕一郎(道後1)

いわし雲手からこぼれるボールか
乗松 柚衣(鴨川3)

しゃくしゃくくり氷菓が癒す耳と舌
水田 梓園(小野3)

数学の答えも隠す臆月
権名津 歩希(清美平成1)

小石ほどの僕が存在の夏海
井上 和希(清美平成1)

言葉との隙間に埋めたゼリーかな
福原 音(県西1)

えさを待つ目高の群れの口丸し
森本 彩奈(南第二1)

寝返りの畳冷たし祖母の家
大奥 亜美(津田2)

八月や木はこつこつと生きている
安部 美夏(西3)

蟬鳴りのうまれたばかり手にのせる
小椋 亮(桑原3)

盆休み茶碗十個のにぎやかさ
新居田 大紀(北1)

日焼けして顔色読めぬ父がいる
高橋 蓮(津田1)

夏空五重塔が背伸びする
板橋 今日子(内宮2)

蝉時雨行きより長い帰り道
濱原 基哉(津田1)

夏祭り握りしめたる五百円
山本 翔太郎(松山中央1)

稲刈りや家族で集う祖父の家
池内 清流(松山城南2)

かき氷作る機械を作る僕
重見 竜成(松山工業3)

炎天に負けじと手に取るはんだこ
岡本 克典(松山工業3)

ラムネ瓶ボンとあふれる僕の夢
小川 すずか(聖カタリナ1)

蝉の鳴くこの校門ももう最後
曾我部 真帆(松山工業3)

寝返りの畳冷たし祖母の家
大奥 亜美(津田2)

せり上がるうなぎの尻尾おけのふ
ち 渡部 晃司(垣生2)

赤紫蘇の灰汁母の手を染めていく
岡井 美音里(垣生3)

遠き友切手をはって夏の風
木下 さりら(桑原2)

生き尽くす千年杉の終戦日
長尾 美都里(附属1)

二人旅母の日傘で涼を取る
大西 里佳(清美平成2)

西瓜割りあふれる自信で砂が舞う
神原 龍冬(勝山3)

盆の月家族の絆照らしてる
岡田 優里(伊予1)

父越えた大きな背中雲の峰
渡部 颯也(伊予2)

ラムネ瓶ボンとあふれる僕の夢
小川 すずか(聖カタリナ1)

炎天に負けじと手に取るはんだこ
岡本 克典(松山工業3)

蝉の鳴くこの校門ももう最後
曾我部 真帆(松山工業3)

お問い合わせは、(教子規) 記念博物館 931-5506・ FAX 934-4116

小学校4～6年生の部

●グランプリ●



竹田 紗彩 (素鷲小5年)

夏休みの朝、ペランダの朝顔のつるが支柱より上に出ていました。かからまるところを探してゆらゆらしている様子が見えませんでした。私の未来もステキなものになるようにがんばりたいと思います。

あさがおのつるがみらいをさがす朝

矢野 裕司選

そでまくり金魚をすくう手に見と
れ 高市 勝汰(雄郡6)

洗たくでめい路ができたゆゆ晴れ
間 山本 陽菜(久枝4)

トゲトゲのとりたててキウウリ手で
おどる 水中 樹(垣生4)

くき曲がるひまわりそれで顔あ
げる 西下 真鈴(伊台6)

長なわをみんなとで春を呼ぶ
松田 一心(垣生4)

目の前だブルーのかべまで指伸ば
す 吉松 晃(湯山5)

空にさく火花を見下ろすべががい
る 久幾田 莉(味酒4)

街中がぐるり日傘の舞踏会
岡崎 唯(久枝5)

自転車でとんぼのむれをまっふた
つ 蟻川 ななみ(湯山4)

一列に並んで出てくるばくの汗
山本 祐輔(素鷲6)

からつゆにピンとむね張る洗たく
物 永井 結菜(雄郡5)

夏の道父の一步ははくの二歩
清水 唯吹(生石5)

ひまわりが夜空の月とわたをくむ
板橋 真琴(潮見4)

Tシャツを真夏の日差しつき抜け
る 遠藤 妃奈乃(東雲6)

自転車のサドルを二センチ上げた
夏 上田 雅也(余土5)

かけ声を見つけて走る秋祭り
杉野 倫太郎(垣生4)

風鈴の音さき歩く先斗町
矢野 さやか(清水6)

長なわをみんなとで春を呼ぶ
松田 一心(垣生4)

春の空友達まだかとらめつこ
三津 妃那子(清水5)

そでまくり金魚をすくう手に見と
れ 高市 勝汰(雄郡6)

ラジオ体操振り返ってみたいわし
雲 尾野木 美緒(伊台6)

自転車のサドルを二センチ上げた
夏 上田 雅也(余土5)

青空をふめばいいんだ逆上がり
大野 麻友(久米5)

あさがおのつるがみらいをさがす
朝 竹田 紗彩(素鷲5)

一本だけ流しそめん先越され
村上 なずな(番町6)

からつゆにピンとむね張る洗たく
物 永井 結菜(雄郡5)

日焼けして遠くで見るほど白い
シャツ 仙波 鈴夏(宮前6)

オニヤンマ最高速度空をさく
忽那 治英(生石5)

朝顔のつるうらうら四拍子
椎森 健詞(石井6)

金魚鉢去年の朱色が浮かんで消え
て 大野 桃(雄郡6)

あさがおのつるがみらいをさがす
朝 竹田 紗彩(素鷲5)

風鈴の音聞き玉響休み時
岡崎 心優(潮見6)

墨の水筆もいつしに初水
大塚 蒼太(垣生6)

よしから見える夜月はしま模様
宇都宮 彩葉(味酒6)

夏ぞうりかかとが笑うこちよき
鴨頭 俊希(石井北6)

小学校1～3年生の部

●グランプリ●



三谷 ふわり (石井小2年)

「ただいま」と言う「おはあちゃん」が答えてくれるのに、シーンとしていてドキドキしながら家に入ると、手紙とトマトを見つけた。おはあちゃんに帰ってきたけど、ひとりぼっちで寂しかったのでこの俳句を作りました。

「すぐかえる。」トマトをのせたメッセー

中尾 順子選

「すぐかえる。」トマトをのせたメッ
セーじ 三谷 ふわり(石井2)

はんちようとしてつなぎあるくはる
のみち 石丸 結葉(垣生1)

ともだちとであつた夏がおきにい
り 梶岡 大翔(高浜2)

川あそび石もゆらゆらフラダンス
小川 花凛(東雲2)

地図ひろげゆめを語つた夏の夜
森田 大翔(素鷲3)

ひまわりのととなりで読書かんそう
文 奥村 桜咲(石井東2)

そくてんの足もつとあがれなつづ
くも 眞鍋 綾花(河野2)

佐伯 敬選

地図ひろげゆめを語つた夏の夜
森田 大翔(素鷲3)

はんちようとしてつなぎあるくはる
のみち 石丸 結葉(垣生1)

すいかわりおにちゃんのかえさ
がして 山下 心那(湯築1)

「すぐかえる。」トマトをのせたメッ
セーじ 三谷 ふわり(石井2)

せみみてたばくがつりかんできた
とこ 井上 爽大(新玉1)

かたたたさばあちゃんこくくりは
るの風 今岡 孝太郎(粟井2)

じいちゃんとのんだあまぎけにが
わらい 藤田 菜優奈(附属1)

高須賀 智子選

「すぐかえる。」トマトをのせたメッ
セーじ 三谷 ふわり(石井2)

友だちとはぐれたほたるみきひだ
り 石津 那留(石井北3)

まぶしくてうつむいて咲くホウセ
ンカ 井手 心那(石井東3)

かえりみちおでんのおいばくん
ちだ 濱本 直希(垣生2)

みずいろのくうきもすいこむなつ
のかわ 岩田 優奈(双葉1)

すいかわりおにちゃんのかえさ
がして 山下 心那(湯築1)

おつかいにドアをあけたらなつづ
の風 西尾 暖和(高浜2)

柴川 智恵子選

つかまえたぼうえんきょうになつ
の月 山岡 登明(清水2)

プール後かきふみおにの帰り道
飛鷹 祥子(雄郡3)

ゆきがふるつぶつぶつぶつぶと
見た 塩賀 翔太(垣生2)

「すぐかえる。」トマトをのせたメッ
セーじ 三谷 ふわり(石井2)

キャンプ場おきかえるないた
よる 結城 賢太(東雲1)

かたたたさばあちゃんこくくりは
るの風 今岡 孝太郎(粟井2)

台風のと水たまりの中ばくの顔
田村 軍馬(正岡3)

吉見 香奈子選

いわのそばとんばがきいてるみず
のこえ 山本 幹太(堀江1)

かぜふいてうろこみたいなふゆの
川 山下 紗弥(垣生2)

あめんぼういっしゅんだけの平泳
ぎ 田坂 登志貴(久米3)

山のぼりころもひざもわらって
る アンカーへわたすバトンは秋の空
上田 悠之介(北久米2)

花火はねみんをよせる音がする
鶴澤 昌栄美(味酒3)

お手つたいばくもみかんもころ
がった 越智 遼(久枝2)